



書
本
訓
蒙
圖
集
草
上

13
1760
9



43
1760
9

唐土訓蒙圖彙

本草五味類聚

之上

草木

此部は山石芳蔓草の類としくく
のそと強はし

著 草

生蒿のくくつが
二三行り口入十
葉いさら秋むら
白も多くむば糸ハ
ガ一葉と葉
用神草
鉄掃帚 荒性
申にせれ一か二三
十葉たふれ
二三入ふ
ハトノ名和
モロコ

和名 和名 和名



美人蕉
葉蘆鉄のく
色如丹乃
中心一葉
と生



吉祥草 水土
石上に拘られ
しに花
あつと佳
紫し如倍々



本草

本草

本草

和名

黄精 三月

苗生 高二尺人
葉竹の如くして
ろくろくねり
ゆが 白く
ひく子 黍の如く
根生 善の



和名カラスユリ

黄芩 叢
生高二尺より又
独茎ありあり
葉細長くお
對に六月に
開く根知母乃



柴胡 苗生
して其香 莖
まばらして葉
竹の如く 又蒿に
似たり 又冬より
似て 根のなり



天麻 苗の
初くはる 葉の
独茎あり 抽
て 直より 高同
二三尺 葉の
故に 根の
とわたり 莖ま
葉の 苗生



沙参 苗生
して一尺二尺 葉
崖壁の間に
あり 葉枸杞に
似て 又牙あり
七月に 花あり 用



丹参 苗生
して高二尺より
莖幹 方稜
厚 荷の ごとく
よく 毛あり 三
月 花あり いら
石 葉色 あり



人參 春苗

と生して三四月
花あり 小
紫白色 味
根の 形と 神



沙参 和名
子カリツ
又トキニンジン



玄参 春
苗と生して 莖
色よりして 七月
花と開く 莖
色よりして 八月実と
猪小豆色に



紫参 苗長
して二三尺 莖
く細葉 槐に似
又羊蹄に似
し 五月に
用て 白く 又 葉
の者あり



苗と生して 莖
色よりして 七月
花と開く 莖
色よりして 八月実と
猪小豆色に



紫参 苗長
して二三尺 莖
く細葉 槐に似
又羊蹄に似
し 五月に
用て 白く 又 葉
の者あり



羊蹄に似て根ハ

海鯨に似て根ハ

木口參 根ハ

小葉根に似たり

其草 苗生

しつち一二尺葉

櫻の如く七月葉

花と用く奈に

似り子と後て

角子とケヤリ

知母 四月

まむと用く

葦花の如くハ

月実とひまふ

根黄色 菅浦

に似て葉

徐長卿 苗の

まむと用く

花とひまふ

角兒とひまふ根

細辛に似く香

氣も同し

淫羊藿 葉ハ

杏に似く上ノ刺

わりた葉 柳乃

四月白をといら

く又此のさちり

もわり

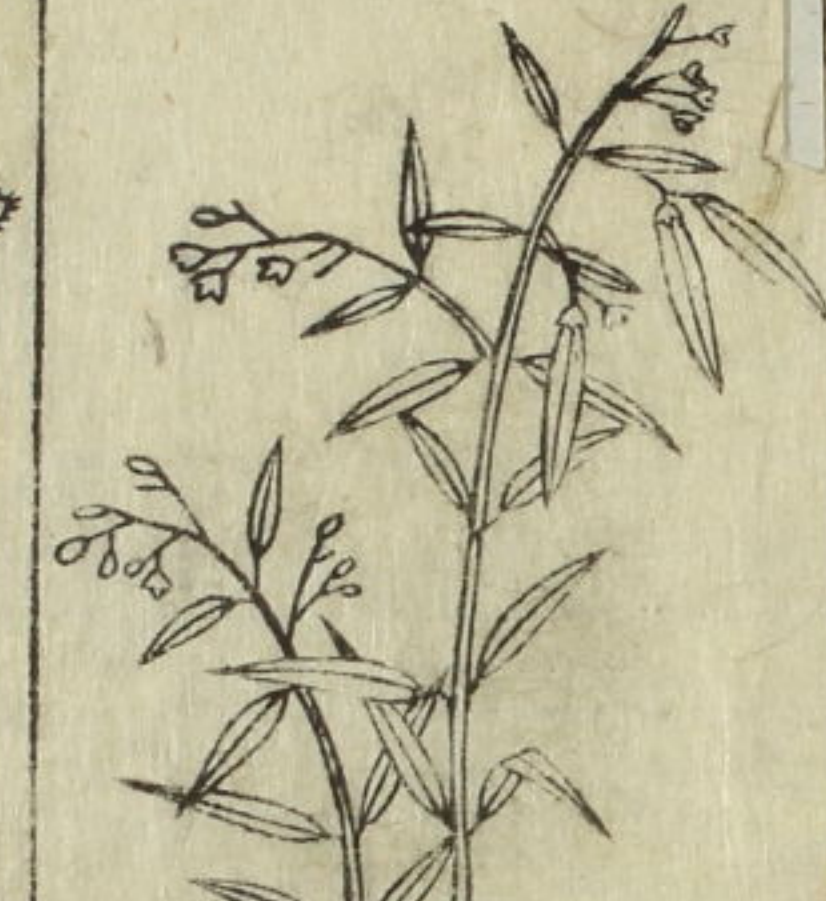
貫衆 苗生

しつち赤く葉大

蕨の如く 茎ノ幹

三稜葉 綠色小

葉の趣に似たり



貝母 葉ハ

蓄麦に似て七月

花と用く葉ハ白

色根貝子を

あつひり加へ故

に名づく故

煎胡 葉苗

と生し青白色

蒿に似たり初

の白芽長三四寸

甚香美し一程

紫胡と當飯

似たりあり

升麻 苗生

しつち二三尺葉

葉麻に似て三

月と似たりひく

白と似たりあり大

小二稜あり小ハ

園中に入てよ

仙茅 葉

まむと用く

軟に復積溜

一面に縦理

三月花用て施

子の如く実を

ひとら

白頭公羽 苗生

狀白薔のこく

長しと茎淡く白

毛あり根のそ

取に白茸ありて

白乳の老翁に似

白前 苗ハ

細辛に似て大

色白く乃易

赤葉の柳に似

たりも葉を

似たりあり



白及 苗長

一尺許 葉の
葉に似て葉の
端に一室と生
るをといひら
なり七月実と
併し白くもり

白鮮 苗生

七高又餘わ
四月に花と用
淡紫色色小
似たり根ハ蔓
青に似たり皮の色
黄白なり

白薇 葉柳

葉に類は六月
紅花と用く八月
実と殆ど根
黄色牛膝
類く短

胡黄連 胡国

一生涯今處に
わり初生葉は
似たり乾て揚
柳の枯枝に似
心黒く外黄し

黄連 苗ハ

葉に似て叢生
一葉三葉と生
冬も凋たば葉
色に所より
花葉の谷に

素五口 葉ハ

秋冬に似て大
色淡より大
花といらく山
岩間より

唐土訓家圖考卷十一

シラシ名和



シエクロ名和



地榆 宿根

一尺生 高三四
尺葉狭細
鋸葉かり七月
花といらく

平地木 高尺

子甚多 葉緑
散整出處に
よきて生に

茅藤果 葉ハ

竹の子と枝
葉下に生に
赤と丹砂乃
と霜雪
松雨の甲に用く

金莖花 一名

高良姜 紫白金
葉の三色あり
諺曰不帶金莖
花不得入仙家
と云也

秋牡丹 葉

裁て林花
初に淡紅
淡紅つかに菊
似たり葉ハ三
ありて生に

三七山漆 春苗

と生一葉三
四人系又似て
葉厚一秋葉
といらく
三石曰故三七

ウカモレリ名和



ナハチタマヤ名和



ジウカフヤ名和



萬年青 葉ハ

意欲ニ似て短
く厚し冬ニ枯
りて之を朱葉
ありて之を

金星草 葉青

多く背陰の石上
に生れ葉長二
尺又三至七寸
上ニ黄星點子
と生れ兩ニお
一金色の

骨碎補 根大

木に生し或ハ石
上多く背陰の
處ニありこれハ
名ハ孫養と云
折傷と主とい
い名ハ

石菖 葉

青く長さ一尺
より葉水柳の
如く短し多く
河岸沙石の
上に生れ

崖櫻 苗の

高一丈己未四
季多かり其
根と用也

石長生 葉ハ

葉ハ似又檜の
多ハ山陰石岩
の下に生れ
世に長生とい
ふものなり
あつた



和名モラト



景天 葉ハ

馬齒莧とて大ニ
沙石のつら
昔より慎火を
一物に似たり
らる大ニ

紫背金盤 苗の
高さ一尺より
葉の背紫し
花ハ根を
とりに

地錦草 苗葉

細弱して蔓
とありて地ニ遍
一葉赤く葉
青し中夏後
盛に

當歸 春

苗と生し葉
縁して三瓣
あり七八月
とひらき
似りものなり

肉豆蔻 胡国

より出つ令嶺南
人亦これと
花實豆蔻
似て圓く小皮
紫し内の肉辛

白豆蔻 苗ハ

芭蕉に似て長八
九尺より七光
冬夏潤す
淡黄色実



和名イケン



白芷 葉

相對一葉紫色
潤三指三寸
花白微芳
伏日入て實と
殆ひまねのり

蓬莪 昂

莪木高二三尺
葉青白色長一
二尺莪荷類
五月花あり
穂とわね根ハ生
善のくく

京三稜 春苗

と生ハ高三四尺
葉蒲葉に似
皆三稜あり五
六月花と開く
例草に似たり



葶藶 葉

生高三四尺葉
圓く潤二三寸葉
の如く三月白
と開く七月子
踏ん搗ぶと軟

鬱金 四月

苗と生一葉黃
二似く花白貫
紅かり実を
根黄赤し
地とく

補骨脂 昂破

故紙かり莖乃
高三四尺葉
落荷に似て微
紫色實ハ麻
子とく圓扁



鹿 葉

麻の如くあり
對ハ氣ハ麻
蕪の如く七月
花と開く多
かり

獨頭蘭 葉

苗二似て小
白むとわね亦
赤脚長鬚の
鬚とく

茅香 三月

苗と生一七
二似て五月白
花と開く又
花とわり又
わねとく



木香 葉

羊蹄に似て長
大に花ハ菊の如
く又葉山の芽
乃とく此花と
開く者あり根
形枯骨に似

杜若 江州

又生ハ葉ハ
二似て花赤根
赤葉に似て小
花ハ紅く

甘沙草 昂

香附子に似
て葉ハ
三稜に似て根ハ
附子の如く
毛多し



薄荷 葉

葉の似し光長
冬と春に根あり
夏秋に葉生れ
夏秋に葉生れ
と



益智 葉ハ
葉の似し高
丈餘其根の旁
に小枝と生れ其
花薄ハ粒と成
子ハ葉の似し



蘇香 葉ハ

葉の似し小
六月に生れ
豆と藿と似ハ
形似し故に
和ニアルハ藥ニ用テ
ヨロシカラズ



高良薑 葉ハ
三四人三月に
と用て根下に
わり五六月実
と成



高良薑 春苗

と生れ葉葉葉
苗の如く大なり
高一二尺と成
花の似し山
姜の似し



甘松香 葉ハ
生れ葉細くして
葉草に似し根
極く細く葉を
八月採て湯浴
すれば香



香薷 葉ハ

葉の似し葉更
子細く十月に
生れ一二月ハ香葉
と成



薄荷 木に
生れ生れ其子
葉の似し葉更
と長く二三寸葉
と成く食は辛
く香



茉莉 花ハ

春末より開て
香あり白
葉の似しわり植
ての葉更



天門冬 葉ハ
生れ生れ其子
葉の似し葉更
と長く二三寸葉
と成く食は辛
く香



藜 葉ハ

白止し似て香ハ
甚し葉の似し細
五月白毛と成
七八月子と成
根ハ赤色なり



菟絲子 夏
苗と生れ葉の
似し草木乃
は六月と成
月子と成



唐土山藥圖景卷十一

律草 葉ハ
 苧麻の如く細
 して少く細刺
 わりた葉白
 子も麻子に類
 猪殃殃
 名



和名ムグラ

白薬 苗ハ
 苦苣 似て四月
 赤莖長
 蒴蘆の似たり
 六月白むと開
 八月子とひし



紫葳 春生
 夏枯の蒲葳
 似て紫赤色長丈
 大者径二三寸紫
 莖葉に似て根
 皮に紫赤色



使君子 三月
 花と生し淡
 色久して深
 五瓣あり六月
 実と径大と
 子と類と



鐵線 鏡
 州に生れ三月
 根とより用の
 土人種毒を
 消ス



和名カハル

赤地利 春夏
 苗と生し蔓
 なり草木の上
 まるく蔓赤
 多く高寒
 似り七月白
 といれくし
 下ハ粗あり



和名カ

顏知子 蔓
 生大木の上
 角わり面
 背赤一七
 実あり



千里光 葉ハ
 菊に似る枝長
 幹圓くして
 北背に毛あり秋
 莖葉と生し
 花あり黄色



馬兜鈴 苗生
 して蔓の如く
 葉山芋に似り
 六月実と開
 七月実と開
 大さ終乃



天壽根 台
 に生れ毎歳
 土貢
 性涼
 甚胸膈の煩
 熱と治す



威靈仙 生る
 と衆草に比し
 最先葉柳
 似て層て車輪
 式頭白色花
 名



和名カ

白英 蔓

生うて葉ま
く白毛わり夏
花されこが
その実おとへ
て赤



和名ヒヨドリマウコ

何首烏 香苗

と生れ山芋の如く
其蔓竹木に延び
夏秋黄白花と
開く子に稜あり
秋久根とく
大ハ拳の



和名ヒヨドリマウコ

番薯 以後

近年日多り
さうて利多し食
して味く人
量あり



和名モイウキ

南瓜 實

西瓜のくく色赤
一葉も大は蔓
くひあ



和名ラウボ

金我鳥足虫 瓜の

色淡黄かて形
我鳥の卵のく
味も其美なり
童兒のておをい
顔とあ



和名リウメ

西瓜 實

結ぶ圓大を
のくく色
加し子令色又
黒



和名クイス

通草 木通

葉石葦二似
三葉相對
花白く實木
此の如くくら
取養なり



和名アケビ

眉兒豆 蔓

とうん秋の事
りりく實多
一葉葉なり
実く



和名メーゲン

山豆根 蔓

豆根のく
まぐさ
八月より用
一掃小塊の如
なり



和名カ

掛梅 蔓

生にく甜瓜
の如く細花七
月より実じ
の下に在る拳の



和名ルカ

蘿摩 藤

生うても厚
あれとつり乳
汁あり子ハ
瓜二葉なり
名羊角菜



和名モイカ

石南藤 天台

山中に生れ其
苗のい木上
とまよ四時
なま



和名カウフ

獨用藤 施品

に生け四時葉
ありつたな
葉上に刺
ありつた時



瓜藤 四時

葉わらな
に生け

施品



合春藤 台品

に生け 苗蔓
木上よま
冬夏青一土
人葉とつて
薬入つて



血藤 葉ハ

蒲蘭の如
根大 拙指乃
如 其色黄
なり五月



鉤藤 葉ハ

細長く 節間
刺わりく
の



百核藤 台品

に生け 春苗を
生け 蔓木上
とま 花
葉を 皮と
つて 薬入



祢波藤 天台

山中に生け 其苗
蔓て 木上と
四時つに
わら 土人其葉
とつて



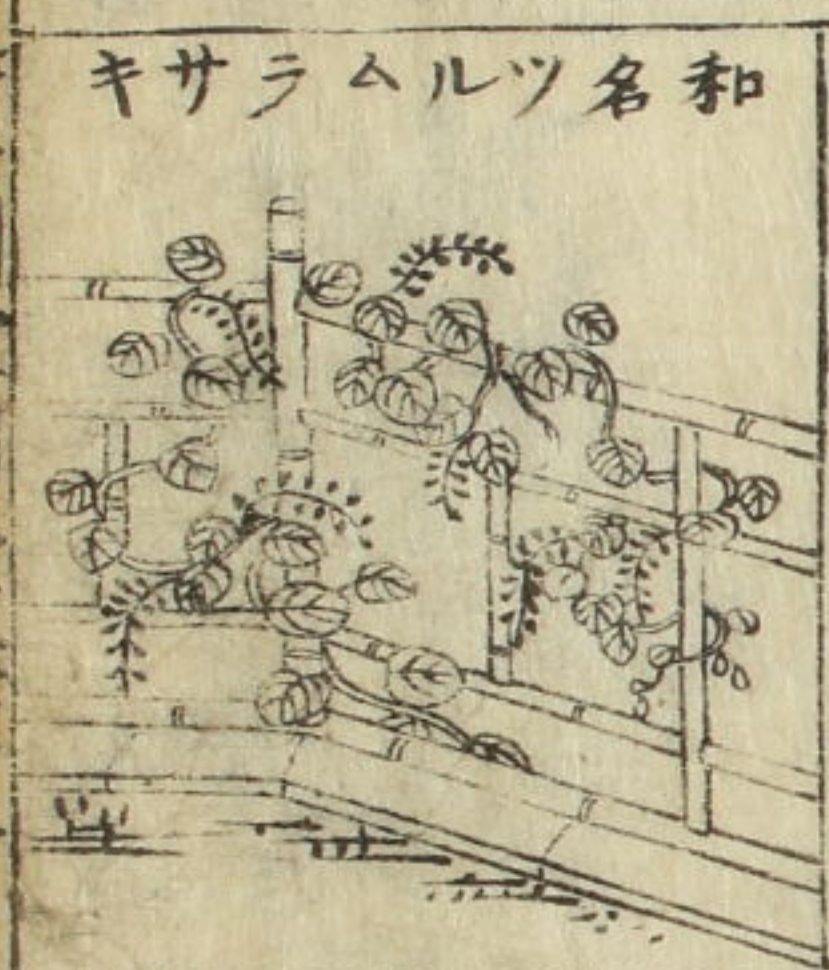
列節 苗葉

俱に 丁公藤に
似たり 花実ハ
九月より



洛英 籬垣

蔓延て 七月
の比 蕃葉なり
葉圓て 光潤あり
灼熱 命入
實熟 七葉
物とむへ



落鳳木 蔓

生て 木と
葉形 茶に
似て 花實ハ
四月より



百部 春苗

と生 尚香葉
うて 花
二天 とうり 実と
ひて 入る 花



石合草 其苗

木とま 四時
葉わり 味なし
その葉乃 味甘
らに 味



和名 ツラムサキ

和名 キキカシ

我鳥抱 山林

の中石の附く
生一蔓と云
葉大豆に似
根ハ菜が服
仰ぐり大小あり



木鼈子 春苗

と生一蔓と云
四月黄びと生
六月實へと結ぶ
拾葉に似て大
其核鼈子似
ゆへに存つこし



千歳薬 葉ハ

葡萄とくくとの
葉白汁ありて
物 六月と
ひらと七月ま
とむすん



麻黄

苗と生一夏長
して一尺と云
上に葉むわり
実と後て百合
辨の



地黄 二月

葉と生一尺
布て車前
似り葉上り
離文ありて
地麻花に似て
印此系なり



蒟蒻巴 春苗

と生一夏子と結
秋に至てこれと
此種 海南諸
島に出こし



唐土諸家図説卷十一

羊乳根 蔓生

みて長さ二三尺
茎葉多しと云
あり茎と肉は白
汁出つ根ハ蘿蔔
のくくして根を
又丸く切つて
此と備ふ



大青 苗高

三尺と云り 莖石
竹ノ類ノ葉圓
長色石紫
馬蔘ノ似り
根黄色なり



小正月 三月

花と生れそ
月葉と云り 福
州の土人 生
つと碎て 瘰癧
を治れ



紫苑 苗と

生して其葉三四
相つたり五六月
のうらに葉紫白
花と云り根と
絡くま



雞腿兒 苗の

高七八寸細く
鋸齒硬厚く背
白一黄むと兩
根ハ指の太なり
一名ハ鬮白草



九牛牛 二月

苗生一独
高一尺葉艾
似て圓く長
背に白毛あり
面青



陸英 春苗

と抽て、莖、節、
わ、節の間に枝
葉と生れ大い
水弁、似り春
夏を来と、ち



水蕨 池沢

及の河海を以
生れ、海人呼て
牛蒡、の蜀、
の人、其、花と採
て、面、藥、合、れ



白堊 葉ハ

沢、深、似、小
其形、驚、飛、
似、り、根、ハ、慈、姑
の、く、小、圓、根
あり、水、を、
く、く、



水江 上 下水

の、地、生、れ、心
草、ハ、似、く、三、角、
織、く、席、と、
薩、加、七、島、ヨ、出
改、ニ、七、島、ト、席、ヲ
名、ツ、ク



鯉腸 昂

蓮、子、草、下、濕、の
地、に、生、れ、二、種
あり、葉、柳、に、似、
光、澤、あり、て、馬
糞、を、以、て、一、種、ハ
結、種、一、種、ハ



陰地 葉ハ

玉、月、苔、高、に、似、く
莖、紫、色、花、小
穂、と、な、り、微
笑、細、幸、に、似、り



穀精草 穀田

の中、に、生、れ、葉、
葉、に、青、
根、花、並、に、白、色
一名、戴、星、草、
云、ハ、その、葉、細
く、花、白、く、圓、に
星、に、似、り、故、し



曲節草 四月

苗、と、生、れ、莖、
節、あり、七、八、月
花、と、生、れ、荷、
と、似、り、子、と、結



馬鞭草 春苗

と、生、れ、根、牙、に
似、り、又、莖、母、
葉、に、三、二、尺、三、四、穂
と、抽、つ、り、
の、外、芽、と、同、



葶藶 苗七

生、れ、葉、の、高、六、七
寸、三、月、葉、心、と
開、く、子、の、角、に、
扁、小、黍、粒、の、
如、く、の、後、採、り、
海、金、砂、 初、生



蛇含 土石

の、上、或、ハ、下、濕、の
地、に、生、れ、莖、五
又、七、葉、を、結、り、
葉、細、く、花、莖、
と、佳、し、



和名

和名



青箱子 苗長

一三四尺葉凋
柳に似たり若葉ハ
五月紅色高き似
たり七月花と
用く上におく下白

敗将西 業取

生一花葉色
根此色深胡
似て陳敗豆將西
の氣ふの故一
名はく白ありテ
コレ云

續斷 其葉

葉の似て菱方
葉多しお野の
花白く茎に似
たりいらく根ハ
藥のこく

火炭母 莖赤

一七葉の細く
葉の葉に似て瑞
尖の夏白むと
ひりた秋實ハ
わりて豆のし

海根 山谷

一七生一莖わく
馬藜多し似て根
サ莖葉に似く小

草綿 此草

秋花のく實の皮
裂く綿と成る
此草は胡種武天皇の
延暦十八年三河國へ
出づる際著し中
此草あり葉に似
類種しむその花
再ひ種をゆく今

唐土書新國原卷十一



龍葵 葉
圓く花白く実
牛李子乃如し
生さく熱
一煮て食
へ



玉不留行 葉ハ
尖小し七匙
のく又攪葉
何れあり四
月花といは
は葉に差し
て生



筆頭菜 春初
花と生に其形
葉の似たり
接續草の未
葉のさくち
いつ葉なり



天名精 夏秋
枝と抽く薄荷
のく花は白
して葉は菜
の如く小く
香氣蘭に似り



天明子 苗生
一七高三四尺
六七月花と用
黄白色其子青
绿豆の如く
生



連翹 苗生
一七秋長榆葉
の如く莖亦高
三四尺なり花
黄に秋実の
又一種莖生あり
抱り



山鐵蕉 葉ハ

蕨のこく根多
そてののこく
狗脊サ微蕨の
一種ナリ

霸王樹 その

形胡瓜壓の如
して刺ありと
いふくむ

肉莖蓉 西巻

より出つ形其藕根
の如く 鱗甲
あり 列當の根湯
これ同 煎し
人誤テ西朝王樹
とスルナカレ

摩訶訶羅經卷十一

和名サグツテ



和名サニホテ
メウナツ
イロハル



丁香加苗 蔓生

あて 雜色
うの 蔓生 刺多
葉ハ 牽牛 葉ハ
むし 蝨り 子 旅
子の 小 ころ



鹹草 扶桑

此の 東ニ 分 國 あり
味 鹹 味 玉 人 此
今 八 丈 此
此 草 を 以 テ 子 旅
字 此 八 丈 此 草



黃花菜 形ハ

此 草 工 似 テ 其
る 工 似 テ 其
と 似 テ 聖 人
和 七 種 工 用 者
タロコナリ



山鐵蕉

葉



